

# ひばごんだより

第5号

2023.2 発行

八銚自治振興区

## 冬の八銚自治振興区 活動写真♪



三坂高齢者部を講師に毎年恒例「しめ縄講座」



旧三坂小学校での「とんど」。



八銚落合は八銚自治振興センターで。今年はクリスマス前に降った雪がたくさん残っていました。



八銚落合自治会のみなさんと、備後落合駅の花壇に花を植えました♪



創作教室でマスクケースを作りました。



高齢者部会で育てたシイタケも順調♪来年もがんばります！



積雪70cm！事務局長が雪かき！



備後落合駅にて特別急行列車をお迎え♪

## トピック 簸上鉄道（木次線の前身）と糸原家

糸原家は中世武家の一門で、初代 善左衛門が江戸時代初期に備後国から郡内大馬木村に移住。帰農して間もなくたたら製鉄も始め、大正時代後期まで約280年間たたら製鉄を行いました。木次線の前身の簸上鉄道は、山陰と山陽を鉄道で結ぼうと貴族院議員だった12代糸原武太郎氏・13代糸原武太郎氏が「鉄道こそ男子一生の仕事」と決心し、私財を投じて地域の有志とともに明治45年に簸上鉄道株式会社を設立。大正5年宍道～木次間が竣工し、地域の悲願であった鉄道が開通しました。当時はレールも悪く枕木も悪く路盤はバラスをほとんど敷いてないため、雨の時は崩れやすく、積雪のためよく脱線するも地域の人たちの愛着により復旧したそうです。力不足で峠を登らず乗客が降りて押した、との話も残っています！

簸上鉄道は貨物輸送の面では革命的な変革をもたらし、木炭、砂鉄などは貨車に積み替え東京まで運び雲南地方の木炭がどんどん市場に出回るようになりました。昭和7年、国鉄木次～三成間が開通し宍道～木次間の私鉄簸上鉄道と結ばれ、昭和9年、国鉄は簸上鉄道を買収し国鉄木次線延長工事を継続。昭和12年12月に八川～備後落合間が開通、木次線は全線開通し山陰山陽を結ぶ主要路線となりました。

参考：木次線活用推進協議会 <https://kisuki-line.jp>

奥出雲町の糸原記念館の「簸上鉄道&木次線特別企画展」に八銚自治振興センターの鉄道展示資料を貸し出しました。10月27日には、備後落合駅から木次線で糸原記念館に視察研修に行きました。



八銚の旬の情報発信中！ 「ヒバゴンビレッジやほこ」HP <https://www.yahokojichi.com>



広報担当が育児休暇中にてひばごんだよりの作成が1年間振りとなってしまう、大変失礼しました。今は赤ちゃんの次女を連れて出勤しています。子連れ出勤にテレワーク、今時の働き方をこの山奥の八銚でさせてもらっていることに、とても有り難く感じています。今は西城で生まれる赤ちゃんは年間10人前後、小学校も1つになり同じメンバーで中学校までずっと一緒です。子ども達は学年問わず友達になり、小さな社会の中でお互いを尊重できる人間関係を学んでいます。習い事等の選択肢は少ないですが、今はオンライン教育もあることだし「自然豊かな田舎での子育てってなかなか良いのでは」と感じています。顕著な少子化ですが、子ども達が「ここで育って楽しかった」と思える、地域への愛着を育む事業を、これから考えていきたいと思います。

発行：八銚自治振興区  
広島県庄原市西城町小鳥原 615-1  
tel: 0824-84-2363  
mail: yahoko.jichi@u-broad.jp



大鍋で振舞われたやほこのきのこ汁

やほこの美味しいもん大集合！

口和満月マルシェ 友情出店♪



八銚収穫祭 やほこマルシェ

やほこの特産品も工夫を凝らして！

地域に元気を！を合言葉に10月10日に3年ぶりとなる「やほこフェスタ（八銚収穫祭）」を開催しました。当日は雨が落ちそうな寒い日にも関わらず、地域内外からたくさんの方が来られました！特にこどもさんを連れた家族が多く、古い木造校舎の中は久しぶりに子ども達の元気のよい声で溢れました。



裏千家 重藤宗朋 社中一同様

二科展写真部 津島恵子さん

この度「ふるさとおかえり特別展示」として、広島市在住の重頭朋子さん（旧姓赤木：八銚落合）の「お茶会」、東広島市在住の津島恵子さん（旧姓小川：三坂）の「写真展」を開催しました。ひばごんだよりをご縁に展示いただけたこと、大変嬉しく思います！



たくさん子ども達が八銚に遊びに来てくれました！

やほこの生涯学習発表会♪

皆さまからいただいた「メッセージで里帰り」見入って懐かしむ声も！皆さまの声が地域の元気になります！

YouTube

「やほこフェスタ」当日の雰囲気をぜひ動画でお楽しみください！



芸備線・木次線ニュース

今年度はJR芸備線・木次線を活用した視察研修を4回開催しました。木次線を利用して「奥出雲・布勢公民館視察研修」「絲原記念館探訪」、芸備線を利用して「広島植物園視察」「東城街並み散策」を行い、地域住民のべ80人の参加がありました。3月には木次線に乗って出雲大東駅への視察も開催予定です。また11月13日には芸備線利用推進として備後西城駅・ウイル西城で「新そば祭り」「三斗物語」を行うなど、振興区をあげてJR利用促進事業に取り組んでいます。

JR芸備線・木次線存続問題は大変大きな課題ですが、地域として出来ることを地道に行っていきます。まずは地元住民が鉄道を利用すること、そして歴史を知り、地域に鉄道がある意義を考えること。今ある鉄道をどれだけ活用していけるか、次年度も取り組みを続けていきます。



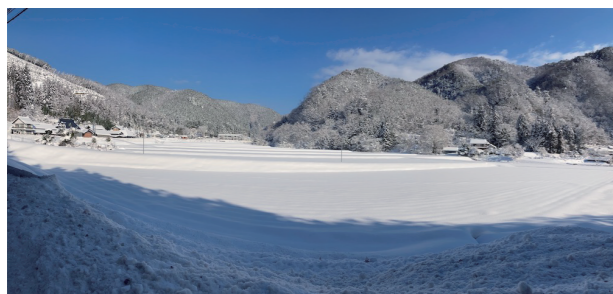
八銚自治振興センターしいたけ、順調に栽培中！

一昨年4月に100本の楢木に植菌したしいたけが、昨秋に初収穫できました！初年度でしたが予想以上に良く出来ました。今年度のしいたけは乾燥して、地域の福祉施設等に販売しました。次年度はさらに200本の楢木に菌植を計画しています。また、10月1日には広島経済大学との交流会を行い、学生12名がしいたけの本伏せ体験をしました。高齢者部に教わりながら、初めての山仕事に学生たちは興味深々！地域の野菜ソムリエの方のしいたけ講座にも熱心に聞き入っていました。

市場の9割を占める菌床しいたけに比べ、原木しいたけは肉厚で旨味も強く栄養価も高く、採れたてのしいたけはまさに「森の恵」です。この原木しいたけの美味しさを皆さまにも体験していただけるよう、次年度は体験型のメニューを考えていきたいです。



今年は大雪！



今年はここ10年で一番雪が降りました。クリスマス寒波で大雪が降り、特に12月23日は積雪70~100cmの大雪で一部家屋の倒壊もありました。1月下旬の大寒波も12月程ではありませんが、1週間雪が降り続き50~70cm程積もりました。厄介な雪ですが晴れ間にはキラキラと輝いたため息が出るほど美しい銀世界が広がります。なかなか大変な季節ですが、ぜひみなさんに見ていただきたいです。

年賀状を送らせていただきました♪



ひばごんだよりを送らせていただいている皆さまと、八銚地域の80歳以上の高齢者世帯に今年も年賀状を送らせていただきました。毎年絵手紙教室のみなさんが一枚一枚手書きをされています。今年は「筆伝」の講座も受け、いつもと一味違った絵手紙もありました。皆さまのお返事が励みになります。ありがとうございます。

\*一部の年賀状に差出人を書くのを忘れてしまい、ご迷惑をおかけいたしました。

やほこにUIターン！

今回は八銚自治振興区の地域マネージャー・今村の紹介です。

地域マネージャー 今村舞由美



和歌山県出身、10年前に西城町にUターンしました。西城自治振興区、西城町観光協会で働き、昨年度から八銚自治振興区で地域マネージャーとしてお世話になっています。昨年度は当時2歳の長女を連れて、今年度は育休を経て0歳次女を連れて出勤しています。子連れ出勤は大変ですが、地域のみなさんが子どもを可愛がってくださり、楽しく働かせてもらっています。八銚自治振興区では主に情報発信や交流イベント等を担当しています。

西城で地域の魅力を知る

学生時代は美術を学んでいましたが、過疎地域のまちづくりに興味を持ち、卒業後すぐ知人も親戚もない西城町に移住しました。地域振興の仕事を通じて地域の方の温かさに触れ、西城の地域を元気にしたいと思い、「地域の良さ」を発信・体験するイベントを公で行っています。

同じくUターン者の夫と結婚し、地域の皆さんの協力のもと、9年前に芸備線に乗って備後西城駅前前で結婚式を挙げました。芸備線80周年には地域の方に協力いただき、ムービー撮影を行うなど、夫婦共に芸備線好きでもあります。地域の仕事や行事で様々な経験をし「西城・八銚は誇れる資源もあり、元気な人もいる、素晴らしい地域だ」と感じています。

現在は子育て真っ盛りの母さんですが、こどもと一緒に八銚の魅力を掘り起こしていきたいです。

古民家DIYライフを楽しむ

家は西城町八鳥で築110年超の古民家を借りて、自分たちでDIYしながら住んでいます。仕事を終えた後や週末の改装は4年近くかかりましたが、快く自由に使わせてくださる家主さんや改修を手助けしてくれるご近所さんのおかげで、素人夫婦ですが古民家改修ができました。自分たちで家を造る過程はとても楽しく、薪ストーブも入れて憧れの古民家ライフを楽しんでいます。



同じ部屋の before → after. 右端は薪ストーブ1年程窓がなく、ブルーシートで過ごした時も。自分たちの経験が、これから田舎暮らしを考えている方にお役に立てればと思います。

やほこグルメ！

今回はやほこのイベントには欠かせない、油木の加工所「ゆうき市」さんを紹介！

ゆうき市

(庄原市西城町油木)



お餅・おこわ・バラ寿司・おはぎに赤飯、田舎弁当など「昔懐かしい味」が人気のゆうき市。町内等のイベントでの販売がメインですが、地域行事などで頼まれてお弁当も作ります。優しく懐かしい味にはファンが付くほどで、イベント出店時は売り切れ必至。田舎の味の伝統を引き継ぐ、八銚になくはない存在です。

地域の農地と食文化を守る

中山間事業(田・農地の維持管理)の一事業として、38年以上前に旧八銚農協油木支所の建物を加工所として活用した「ゆうき市」が始まりました。加工所を立ち上げたおばあちゃん達が卒業し、今は次の世代の60~80代が中心となり、昔からの味を守り続けています。

お正月や春には頼まれてお餅もつきます。ゆうき市の杵つき餅は「ひめのもち」を使っているため伸びがよく粘りがあります。お正月のお餅は油木だけでなく八銚・西城からの注文も多いそうです。

「昔は各家庭で作っていた餅等も今は高齢化でできなくなり『ゆうき市で餅をついてもらえて良かった』と地域の方々から喜ばれることが、励みになります。」と加工所の方々。もち米は持ち込みもできるそうです。

特徴は「伝統の懐かしい味」

発足当時から変わらない、昔ながらのレシピを忠実に守り続けています。酢や砂糖の量も決まっていて、初代のおばあさん達が分量の線を引いたカップをずっと使っています。カップが壊れたら、同じ物を探すのだそう！レシピは企業秘密だそうで、写真は撮れませんでした(笑)。

地域の食文化を受け継ぎ守り続けるゆうき市。都会の人も若い人も食べると「なんだか懐かしい、心に沁みる」と言います。時代は変わっても、田舎のほっとする味を求める私たちの気持ちは、ずっと変わらないのかもしれない。

「杵つき餅」注文お受けします。

一升 1,800円(送料別) 真空パック代 +150円  
二升からお電話にて承ります。お孫さんのお誕生日祝いなどイベント対応出来ます。懐かしい味をぜひご賞味ください。

ゆうき市(代表:高原)  
TEL:090-8061-8292